



2026年6月4日

各位

会社名 株式会社フェローテック
代表者名 代表取締役社長 賀 賢 漢
(コード番号:6890 東証スタンダード市場)
問合わせ先 IR・広報部長 野 田 耕 一
(03-3281-8186)

2026年3月期 アナリスト・機関投資家向け決算説明会 質疑応答に関するお知らせ

当社の2026年6月3日16時より開催したアナリスト・機関投資家向け決算説明会において、2026年12月期の業績見通しに関し、売上高および営業利益に関する数値についてのコメントがありましたので、金融商品取引法におけるフェア・ディスクロージャー・ルールの趣旨を踏まえ、情報開示の公平性を確保する観点から、コメント内容を公表いたします。なお、質疑応答の詳細については後日改めて開示致します。

記

1. 質疑応答における2026年12月期の業績見通しに関するコメント

- ・ 今期、我々は、売上4,000億円は追求したい。営業利益も500億円くらい行けるんじゃないか。1月から6月の売上は大体1,800億円ぐらいあって、営業利益は280億円から300億円を期待している。これは営業サイドの期待感を持った数値、目指す数値である。
(注)当社が2026年5月15日付決算短信にて開示した2026年12月期売上高予想は3,500億円、営業利益380億円です。

2. その他の主な質疑応答について

- ・ 2026年3期業績について
 - －2026年3月期の営業利益率が10%を下回る水準(9.5%)となったが、新たなマレーシア工場が立上げ段階にあり、十分に収益貢献をしていない等の要因があった。
 - －2026年3月期第4四半期は、立上げ途上である金属加工マレーシア工場やPV向け石英坩堝を縮小した坩堝事業の在庫評価減等があり、営業利益が落ち込んだ。
- ・ サーモモジュール事業について
 - －光通信トランシーバー向けのサーモモジュールを、月産400万枚から600万枚へキャパシティーを増やしている。自動化を進めて来たことで競争優位性があり、当社は需要増加に対応できている。今年一杯で月産900万枚までキャパシティーを増やしたい。
 - －光通信モジュールの容量が800G(ギガ)から1.6T(テラ)となった際、シリコンフォトニクスではサーモモジュールの搭載枚数が減る可能性があるが、シェア増により売上を増やしていきたい。
- ・ マレーシア工場及びセラミックス事業について
 - －マレーシア・クリム第2工場は、8月に竣工させ、10月に竣工式をやりたい。
 - －セラミックスは注文が多く、キャパシティーが足りない。顧客から強く増産要請を受けており、苦労しながら対応している。
 - －クリム第3工場をつくる検討もしているが、建屋は借りる予定だ。

3. 今後の対応等

上記1)で示した数値は、営業サイドの期待感を持った数値、目指す数値であり、正式な業績予想として公表するものではありません。業績予想の修正が必要な場合には、適時適切に公表致します。

以上